

製品名: 胎盤アルカリホスファターゼウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab00558**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	Calculated MW: 57 kDa; Observed MW: 60 kDa

抗原情報

遺伝子名	ALPP/ALPPL2
別名	ALPP; PLAP; Alkaline phosphatase; placental type; Alkaline phosphatase Regan isozyme; Placental alkaline phosphatase 1; PLAP-1; ALPPL2; ALPPL; Alkaline phosphatase; placental-likeALP-1; Alkaline phosphatase Nagao isozyme; Germ cell alkaline phosphatase; GCAP; Placental alkaline phosphatase-like; PLAP-like
遺伝子 ID	250/251
SwissProt ID	P05187/P10696
免疫原	抗血清は、ヒト ALPP/ALPPL2 の N 末端領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 1-50

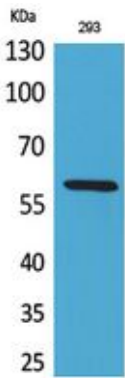
背景

PLAP は、遊走細胞の誘導や、脂肪酸や免疫グロブリンなどの特定の分子の細胞膜透過を補助すると考えられています。ヒトで同定されている3つの組織特異的AP、PLAP、生殖細胞AP (GCAP)、腸管APは、90~98%の相同性を示し、遺伝子は染色体2q上にクラスター化しています。

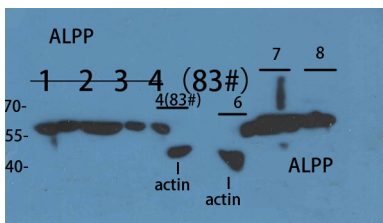
研究分野

タグとセルマーカー

画像データ



胎盤アルカリホスファターゼ抗体を使用した293溶解液中の胎盤アルカリホスファターゼのウエスタンブロット分析。



ALPP/ALPPL2抗体を使用した溶解物中の胎盤アルカリホスファターゼのウエスタンブロット分析。

1 2 3 4 customer's cell
6 293T
7 HeLa
8 K562